

令和 7 年第 1 回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	4	芦 葉 弘 志	1 歯の健康について	厚生労働省のホームページには、『口腔と全身の健康の実証的データとしても明らかにしていくため、平成 8 年より厚生科学研究「口腔保健と全身的な健康状態の関係に関する研究」が実施されており、80 歳高齢者を対象とした統計分析等から、歯の喪失が少なく、よく噛めている者は生活の質および活動能力が高く、運動・視聴覚機能に優れていることが明らかになっている。また、要介護者における調査においても、口腔衛生状態の改善や、咀嚼能力の改善を図ることが、誤嚥性肺炎の減少や、ADL の改善に有効であることが示されている。』との記載がある。 （１）埼玉県下東部地域の市区町村における歯科健康診断の現状を伺う。 （資料提供をお願いします。） （２）幸手市における歯科健康診断の現状を伺う。 （３）幸手市における歯のフッ素発布における現状を伺う。 （４）幸手市における虫歯対策について伺う。 （５）海老名市、海老名市歯科医師会ではメーカーとタイアップして市民の歯科健康を守るため、55 歳以上の市民を対象にオーラルフレイル健診を実施している。ここで、「オーラルフレイル」とは、直訳すると「口の機能の虚弱」となる。口のささいな衰えを放置したり、適切に対処しなかったりすることより口の機能の低下や食べる機能の障がい、さらには心身機能の低下にまでつながる。このオーラル

			フレイル健診を幸手市でも導入したら市民の健康につながると考えるが市の考えを伺う。 (6) 北海道では、むし歯のある子どもの割合が全国平均と比較し高いことが課題であり、お子さんや保護者の方に幼少期から歯と口腔の健康づくりに関する正しい知識・習慣を身につけてもらうことが重要と考えていた。その対策として、キシリトールラムネを道内 23 の事業者（保育園、幼稚園）で導入した。このキシリトールラムネを幸手市でも導入したら市民の健康につながると考えるが市の考えを伺う。
		2 リチウム蓄電池等の小型充電式電池の回収について	リチウム蓄電池及びその使用製品を廃棄物として処理する上で、収集・運搬時や処分時にパッカー車や廃棄物処理施設等で衝撃が加わった際に発火する事故等が多発している。 リチウム蓄電池はスマートフォンやワイヤレスイヤホン、携帯扇風機、加熱式たばこの本体など、充電式の電子機器に幅広く内蔵されるようになり、ごみ収集車や処理施設で押しつぶされたり、破断したりすると発火するため、火災につながりやすい。 (1) 市でおこなっている、リチウム電池回収対策について伺う。 (2) 愛知県瀬戸市では、市が指定する各ごみ捨て場に「発火性危険物」の区分を設置し、分別回収を市民に知らせるチラシには、対象となる品目として「加熱式・電子タバコ、充電式シェーバー、スマートフォン、タブレット」などリチウムイオン電池を本体に含む家電を記している。また、市役所には不要になった家電をそのまま捨てられるように、回収ボックスを配置している。このような具体的な取り組みについて市の考えを伺う。

			(3) 幸手市および県内では、リチウム電池が原因の火災事故がこれまであったか伺う。 (4) 幸手市におけるリチウム電池が原因の火災事故対策を伺う。 (5) 小型家電回収ボックスにおいて、環境省のアンケート資料では「蓄電池等が取り外せない製品について、そのまま排出するよう指示」が 43.8%と多く、衝撃や圧力がかかることによって発煙・発火の危険性があることから住民自ら取り外すことがないように指示をしていると考えられる。」となっている、幸手市の小型家電回収ボックスのホームページにはそのような記載がないので改善したほうがよいと考えるが市の考えを伺う。 (6) 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ホームページに掲載の「日本容器包装リサイクル協会によるリチウム蓄電池等の適正排出を促すポスター」は大変わかりやすいので、市でも取り入れるべきと考えますが市の考えを伺う。 災害はいつおこるかわからない。また日頃からの対策や訓練が必要で、訓練をする事によっていざという時に役立つと考える。また、内閣府防災情報の記載には「防災基本計画において、市町村には、罹災証明書の交付に必要な業務の実施体制の整備を行うことのほか、効率的な罹災証明書の交付のため、当該業務を支援するシステムの活用の検討について定められています。」との記載がある。 (1) 幸手市における罹災証明書発行に関する手順を伺う。
--	--	--	---

3 防災対策について

				(2) 幸手市における、住家被害調査の担当者の育成、訓練などの考えを伺う。 (3) 第6次幸手市総合振興計画108ページには、「市民生活に影響がおよぶ恐れがある事案が発生した際に、一元的に情報を収集し、庁内が適切に対応できるよう危機管理監を配置するなど体制づくりを進めてきました。また、「幸手市危機管理指針」、「個別対応マニュアルおよび業務継続計画（BCP）＊」を作成し、あわせて発災後の初動訓練としてBCP訓練を実施しています。」となっている。BCP訓練の訓練方法と内容を伺う。（資料提供をお願い致します。） (4) 業務継続計画（BCP）は年単位で見直すことによって、最新の業務にも対応が可能と考える。計画の見直しや更新について市の考えを伺う。（資料提供をお願い致します。）
2	6	坂 本 達 夫	1 命を守る政策と庁舎整備構想について 2 義務教育学校について	(1) 阪神淡路大震災から学んだことを市長に伺う。 (2) 庁舎整備より前に、市民や職員の命を守る政策をとるべきと考えるが、市長の考えを伺う。 (1) 東中学校内に建設する小学校課程の校舎について、必要とする教室名、面積、概算費用を伺う。 (2) 12月議会の教育部長の答弁で、「長期的な視点で見た場合には、権現堂川小学校校舎を利用するより、東中学校内に校舎を建設した方が安くなる」という説明があった。その内容を伺う。

			3 中5丁目小公園（ワンワン公園）付近の水害について 4 大堰橋周辺地区浸水対策シミュレーション結果について	(1) 平成11年度に小公園内調節池に流入する雨水の面積を拡大した。当初の範囲と拡大した範囲を伺う。(図面で説明願います。) (2) 雨水の流入面積を拡大させることを、どのように地域の市民に説明したのか伺う。 (3) 排水ポンプは、中落の水位が上昇した場合でも、正常に機能しているか伺う。 (4) 今後、市はこの地区の水害対策をどうするのか伺う。 (1) シミュレーションの結果、追加するポンプの位置、排水能力、設置費用を伺う。(図面で説明願います。) また、既存ポンプの位置、排水能力等も併せて伺う。 (2) ポンプの追加設置に関し、埼玉県との協議内容を伺う。 (3) 追加するポンプの設置工事はいつになるのか伺う。
3	3	宮澤大地	1 幸手市空家対策計画の現状について	令和7年度の幸手市空家対策計画の策定に向け、本年度は空家等実態調査を実施。また空家と思われる建物の所有者に対し、「幸手市空家等対策計画策定業務におけるアンケート」も行っています。幸手市空家等対策計画策定に向けて着実に前進していますが、その内容等について質問をいたします。 (1) 実態調査による空家の件数について伺います。 (2) 空家所有者に対するアンケートの返信の数を伺います。

			2 幸手市小中学校の教育環境等について	(3) アンケートの具体的な内容を伺います。 (4) 幸手市空家等対策計画の今後の具体的なスケジュールを伺います。 適切な教育環境を確保するためには、学校に関わる設備の整備や保護者へのフォロー等が必要不可欠です。そこで幸手市小中学校を取り巻く環境整備の状況等について質問いたします。 (1) 市内小中学校体育館のエアコン設備の状況を伺います。 (2) プールの老朽化等により使用できず、水泳の授業を外部委託している小学校があります。使用できないプールを含め、市内小中学校の設備状況を伺います。 (3) 一部小学校の校庭の土・砂が減り、高低差ができたことで児童・生徒が転倒し怪我をしやすくなっている。安心して子どもたちが校庭で遊べるよう整備が必要だと感じるが、幸手市の考えを伺います。 (4) PTA 及び保護者に参加依頼をする幸手市及び埼玉県の事業・イベントについて伺います。 (5) 給食費無償化の実現について伺います。
4	7	小 林 英 雄	1 「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について 2 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」について	(1) 臨時駐車場設置の進捗状況と今後の予定、見通しについて伺う。 (1) 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の内容について伺う。

			3 道路整備について	(2) 幸手市も今年度エントリーしたがエントリーの目的、幸手版「スーパー・シティプロジェクト」の内容について伺う。 (1) 圏央道側道の久喜市側との接続について進捗状況を伺う。
5	1 3	藤 沼 貢	1 令和7年度予算について	(1) 令和7年度予算編成方針について伺う。
6	1 2	本 田 謡 子	1 災害時のSNSの対応について 2 正規職員と会計年度任用職員について	(1) 災害時のSNSに対する対応マニュアルはあるのかを伺う。 (2) いち早く情報を市民に知らせるためのSNSの施策を伺う。 (3) 担当する秘書課の動きを伺う。 (4) 通常と違うSNSに関する表示の仕方について、詳細を伺う。 (1) 正規職員と会計年度任用職員の違いを伺う。 (2) 会計年度任用職員制度は、正規職員との待遇格差を解消する目的で導入されましたが、幸手市の場合、その「待遇格差」はないのか伺う。 (3) 現在の幸手市における正規職員と会計年度任用職員の数を伺う。 (4) 正規職員と会計年度任用職員の占める割合について、市長のお考えと今後の方針を伺う。

7	2	小 泉 圭 司	1 幸手市公共施設の総合的な計画について 2 市長が公約に掲げていた県内トップレベルまでの学力の引き上げの施策について 3 公共交通計画の進捗状況について	(1) 市庁舎整備計画を策定中だが他の施設との複合的な活用計画について伺う。 (2) 小学校だけの再編計画を進めているが他の公共施設との複合的な活用計画について伺う。 (3) 宮代町における小学校と公民館の複合施設計画の推進方法と、幸手市の学校再編の進め方の違いについて伺う。 (4) 幸手市公共施設等アセットマネジメント推進会議の進捗状況について伺う。 (5) 公衆浴場についての考え方について伺う。 (1) 木村市長が1期目の公約に掲げていた「県内トップレベルまでの学力の引き上げ」に対しての対応策と状況について伺う。 (2) 英語教育に対しての市長の状況分析と対策を伺う。 (3) 境町との英語教育に関する取り組み内容と、幸手市の取り組み内容の進め方の違いについて伺う。 (4) ICT分野における教育環境について伺う。 (1) デマンドタクシーの今後の計画について伺う。 (2) 公共交通あり方検討会の協議内容について伺う。
---	---	---------	--	---

			4 狭あい道路の削減に向けた取り組みについて	(3) 公共交通の改善のための調査検討内容について伺う。 (4) 五霞町の様々な交通支援政策を見習い幸手市でも取り入れることは可能か伺う。 (1) 交通量の多い歩道の狭い道路においてセットバックによる歩道用地の確保の計画はあるのか伺う。 (2) 杉戸町では用水路の暗渠化で歩道や道路の幅の確保を行っているが、県道並塚幸手線の吉野近くの狭い歩道について市の考えを伺う。
8	1 4	青 木 章	1 中3丁目児童公園について 2 小中学校の修学旅行について 3 天神の湯について	(1) 管理状況について (2) 貸出の状況について (3) 今後の公園の在り方について (1) 修学旅行の行先と日数について (2) 参加人数について (3) 旅行費用について 過去5年分の資料をお願いします。 (1) 木村市長就任後、現在までの対応について (2) 「天神の湯」の早期再開を求める請願可決後の対応について

9	15	大 平 泰 二	1 香日向地区下水道維持管理 2 幸手駅西口土地区画整理	(1) 香日向住宅地汚水マンホールから汚水が噴出した原因と、汚水マンホールの位置とレベルについて（資料提出） (2) 処理場内汚水揚水ポンプ室の水没した深さと水位（レベル）について（資料提出） (3) 香日向地区内管路と、マンホール位置について（資料提出） (4) 汚水揚水ポンプの使用年数と台数、故障原因について (5) 中川終末処理場下水管の接続時期と接続箇所について (1) 幸手駅西口区画整理の建設経済部の答弁で、「もともとは防犯面、交通面の課題を抱えている」と答弁。市民生活部は、「街灯設置でこの暗い区間の両サイドには街路灯を設置するための電柱が存在せず、また独立したポールを敷設するための敷地もないため、現状街路灯を新たに設置することは難しい状況にあります」と答弁している。市長にこの相反する答弁についての見解をもとめる。 (2) 幸手駅西口土地区画整理の事業計画、財政計画の見直しについて伺う。 (3) 事業の財源（国庫、市債、一般財源等）計画の推移と今後の見通しについて伺う。

			3 重点事業と財源内訳について 4 介護保険について 5 小中学校体育館等にエアコンを設置することについて	(4) 事業開始から国庫金の年度毎算出根拠と今後の見通しについて伺う。(資料提出) (1) 今後の重点事業として、桜泉園のごみ焼却場の施設解体工事、中央産業団地の拡張、消防署の庁舎建設、東中学校区の義務教育学校の建設、新庁舎の建設、駅西口土地区画整理、学校給食の完全無償化を予定している。それぞれの重点事業の優先順位と開始年度と事業費及び財源内訳について伺う。(資料提出) (2) 着手順位とその理由について伺う。 (3) その他、「ゆめファーム全農」、「上高野土地改良事業」、「道の駅総合複合施設」の市負担分の事業費について伺う。(資料提出) (1) 介護保険市内各事業所数の推移について伺う。 (2) 紙おむつ支給等、介護保険適用外事業の実施状況について伺う。 (3) 市内訪問介護の事業所の推移について伺う。 (4) 訪問介護の基本報酬の引き下げの実態と、その対応について伺う。 (5) 一般会計から介護保険の基金に繰入れすることの合法性について伺う。 (1) 2024年に12月成立した補正予算において「空調設備臨時特例交付金」が創設された。 小中学校体育館は避難所に指定されていることもあり、今後10年間
--	--	--	--	---

			6 下水道受益者負担金 1242 万 2700 円の損失について 7 市民要望について	にエアコン設置を 95%まで引き上げることを掲げている。武道館も含めた幸手市の対応を伺う。 (1) 時効となった問題の経緯と損失金の補填について伺う。 (2) 担当者の引継ぎはどのような形（書面含む）で行われたか。 (3) 監査委員、管理者の責任はどのようにされるのか伺う。 (1) 努力義務となった自転車用ヘルメットの一時預かり場所の要望。駅自由通路にコインロッカー設置について伺う。
10	1	高野優一	1 小中学生に対する金融教育について	2022 年 4 月からの学習指導要領改訂により、学校での金融教育が義務化されました。 これまでも学校での金融教育は行われてきましたが、内容が体系的に整備されていないことが問題視されていました。そこで今回の学習指導要領改訂により、金融教育の内容が小学校から高校まで一貫した、金融プログラムに準拠したものへと変わりました。 (1) 改定前、改定後どのように変わったのか伺います。 (2) 近隣市町との違いがあるのか伺います。 (3) 幸手市独自の取組があるのか伺います。 (4) 成人年齢が 18 歳に引き下げられ、社会経験を積んでいない若者が金融トラブルに巻き込まれる危険が高まっている。中学校から消費者の権利や法制度、金融トラブル防止のための方法を学ぶことは必

				要と考えるが市の考えを伺う。
			2 義務教育学校について	(1) 通学路の現状について伺います。 (2) 通学路の整備計画について伺います。 (3) 公立小学校の通学距離について概ね 4km 以内と定められているが、開校予定時の生徒の状況（地域、人数）は把握できているのか伺う。 (4) 通学距離が 4 km以上の生徒に対し、どの様に対応するのかについて伺う。 (5) (4) の概算費用について伺う。 (6) 東中学校の教室数と、開校による必要教室数について伺う。 (7) 建設予定費用（新築、増築）について伺う。
1 1	1 0	松 田 雅 代	1 幸手市立小・中学校再編に向けた準備状況について	「幸手市立学校設置条例の一部改正」が可決され、東中学校区は3つの小学校と中学校を統合し小規模特認校指定の義務教育学校とし、さかえ小学校は上高野小学校に統合することが正式に決まった。まだ協議が始まったばかりとは言え、市内で話を聞くと、学校関係者や PTA 保護者などへの情報が十分に行き渡っていない状況が見受けられる。幸手市として、義務教育学校の指定による適正配置は初めてのケースであり、多くの方にご理解をいただきながら是非とも「成功」してほしいと期待する事業である。改めて、再編に向けた準備状況について伺う。

			(1) 改めて、学校再編の目的、推進体制、義務教育学校の持つポテンシャルを伺う。 (2) 東小・中学校の教育課程はすでに「6年間・3年間の区分以外の方向性で検討していく」とされているが、教育課程の検討方法、最終決定者を伺う。また、6年間・3年間の区分以外の学年区分が選択されると、市内では学年区分が異なる学校が混在することになる。他の小中学校との調整等はなされるのか。 (3) 東小・中学校の学校教育目標として、「自己の未来を切り拓く力の育成」を基本として「情報」に関するものを入れる」としている。「情報」はどのような位置づけでカリキュラムに反映されるのか。また、教育課程特例校との違いは何か。 (4) 義務教育学校は児童生徒の保護者の希望により、市内全域から入学できることが配慮事項とされている。これによって、入学する学校を選べる環境ができただけでなく、9年間の中で児童生徒の転学または編入学も想定されるがその場合、転入者の学びの連続性をどう保証するか。 (5) 市内の他の中学校区への「小中一貫教育校指定」「義務教育学校指定」も今後、検討していくのか。 (6) 「幸手市立小・中学校再編準備委員会設置要綱」第6条4，第7条2，第7条8の運用想定を伺う。
		2 教育予算の配分について	近年、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、アフタースクールなど放課後の充実が図られて久しい。子どもの安全な居場所や群れて遊べる

				環境、学習機会の提供が充実することは本来、好ましいことではあるが、一方で気になるのは、これらの機会の恩恵を受ける児童が、保護者のお迎え可能な家庭に限定されていることである。子ども議会や行事等で見える児童生徒たちが立派に活動する姿にいつも感動させられている私は、決して学力や偏差値のみを至上とするものではない。しかし、一方で、義務教育の大きな柱である「学習機会」や「学力保証」はできる限り平等に恩恵が受けられるよう国や市町村の配慮が必要である。児童生徒にとってよりよい教育環境の実現のために、木村市政が、これまで課題とされながらも手が付けられていなかった学校統廃合、適正配置という大きな枠組み改革に着手されたことを私は大いに評価しているが、それと同時に、教育現場にはこれまでとは違う視点で予算配分を見直すべき課題もあるのではないかと考える。そこで改めて、今、市の教育現場が求める予算要望の実態、配分についての考え方を伺う。 (1) 小学校の放課後がより充実する方向にあるが、その恩恵の限定性を鑑みると、授業日課の中での「学力保証」へ投資をシフトすべきではないかと考えるが、いかがか。 (2) 教育現場が求めている予算要望の現状を伺う。
1 2	5	四 本 奈 緒 美	1 災害時の対応について	(1) 1月18日長倉小学校において開催された幸手市避難所開設訓練は、外部業者委託による初の避難所の開設、特に受付に重点を置いた訓練であった。参加人数を伺う。 (2) 総括と課題を伺う。 (3) 阪神淡路大震災より30年、東日本大震災より間もなく14年、能登半島地震より1年。それらの経験を踏まえ、災害時における避

			2 学校施設について	難所での最重要課題はトイレ環境の整備であると考え。ライフラインが断たれた状態での本市における避難所のトイレ計画について伺う。 (4) 避難所・在宅避難のどちらにも有効である携帯トイレの設置・使用訓練の実施、各家庭での携帯トイレの備蓄の推進と使用方法の周知を行うべきと考えるが見解を伺う。 (1) 権現堂川小学校、吉田小学校、八代小学校、さかえ小学校が、令和 9 年 3 月に閉校となる。閉校後の 4 小学校の学校別と 4 校合計の年間維持管理費の金額と内容を伺う。(資料提出) (2) 閉校する 4 小学校の利活用のスケジュールを伺う。(資料提出) (3) 閉校する 4 小学校の体育館は指定避難所となっている。閉校後の体育館は指定避難所として継続使用されていくのかを伺う。 (4) 国の令和 6 年度補正予算「空調設備整備臨時特例交付金」を活用した指定避難所である市内小中学校 12 校の体育館のエアコン設備の整備について伺う。 (5) 普通財産として管理されている旧香日向小学校の指定避難所となっている体育館のエアコン設備の整備について伺う。
1 3	1 1	小 河 原 浩 和	1 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況を伺う	(1) 地元住民(南北杉山自治会)への説明会の中でいくつかの質問があったと思うが、それに対する市の回答はどのようなものか、それぞれについて伺う。 (2) 吉田地区の他自治会に対する説明会は行われたのか伺う。

			2 幸手市の農業振興について伺う	(3) 他自治会の説明会の中でどのような質問があったのか伺う (4) 地元住民の理解を得られるために、どう考えているか伺う。 (5) 佐野市立旧飛駒小学校の現状と事業計画の進捗状況を伺う。 (1) 今年度、吉田地区地域計画策定にかかる地域協議がされたが、その内容と進捗状況を伺う。 (2) 協議会の構成人員やその選定方法を伺う。 (3) 吉田地区の住民にどのように広報し協力を求めたのか伺う。 (4) 昨年、権現堂地区で地域計画策定が行われたと思うがその進捗状況を伺う。
1 4	9	木 村 治 夫	1 市内防災体制の強化について	(1) 市内自主防災組織の整備進捗状況について伺います。 (2) 市内自主防災組織への補助金、資機材購入補助金を設定しているが、その対象内容また補助額について伺います。 (3) 市地震災害時、協力井戸登録制度への取り組み状況について伺います。 (4) 県内実施自治体への取り組み方法状況調査に対する市としての進捗状況について伺います。

			2 観光施設・ルート整備について 3 令和7年度一般会計予算編成重点施策について	(5) 市内井戸所在地調査等、経過進捗状況について伺います。 (6) 令和7年度一般会計予算に、国の国土強靱化予算が組み込まれているか伺います。 (1) 上船渡橋架け替え工事に伴う通行止めによる、第92回幸手桜まつりへの影響等について伺います。 (2) 観光客の方々を街中へ呼び込む回遊性を高める取り組みとその実施策について伺います。 (1) 災害に強いまちづくりへの施策について伺います。 (2) 地域医療体制の充実に向けた施策について伺います。 (3) 高齢者福祉・介護予防の充実に向けた施策について伺います。
--	--	--	--	--